

授業科目(ナンバリング)	ホスピタリティ概論 (AA103)			担当教員	安部直樹・安東由喜雄・木村勝彦 橋本健夫・滝知則・相羽枝莉子・浦郷淳 ヴィラーク ヴィクトル・中村尚生 小田和人・藤井俊輔・深澤昌史 石原知明・田中啓太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							アクティブラーニングの類型
<p>本学は、「人間尊重」を基本理念に、「ホスピタリティの探求、実現」を教育・研究の基礎とし、ホスピタリティを構成する能力を身につけ活用できることが、学位授与の方針となっている。本講義は、本学でのあらゆる学びの基本となるホスピタリティの意味を理解し、実践的に体現していくことができるようになることをねらいとする。</p>							④⑤⑥ ⑦⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ホスピタリティの具体的なあり方を自らの専攻分野に関連づけて説明することができる。				期末レポートの提出	25%	
情報収集、分析力	ホスピタリティの基本的な精神とそのさまざまな表現について情報を収集し、分析することができる。				manaba での振り返りと課題提出	15%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神を社会生活の中で実践し円滑な人間関係を築くために、周囲の人達と積極的なコミュニケーションを図ることができる。				manaba での振り返りと課題提出	15%	
協働・課題解決力	与えられた課題を自らのものとして捉え、解決を試みることができる。				期末レポートの提出	15%	
多様性理解力	理事長、学長及び事務職員等の講話を傾聴するとともに、その様々な生き方を肯定的に受け止め、社会を構築する多様な人々を理解する。				manaba での振り返りと課題提出	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎時間後に提出する manaba を活用した課題の記載状況を通して、授業への参加度や主体的な思考の実践度などを判断し、評価する。また、manaba の課題提出を持って、授業への出席と判断する。従って、授業を視聴した場合は、必ず課題を提出すること。							
授 業 の 概 要							
<p>本授業は、テーマや内容に応じて、理事長、学長、副学長をはじめとする本学教員および社会で活躍する本学の卒業生ならびに外部講師の講義により、本学の学びの核となる“ホスピタリティ”の多面的な理解を目指す。新型コロナウイルスの感染予防のために、本授業は遠隔教育となり、授業録画を一定期間ユーチューブで視聴可能にする。視聴後、必ず manaba にアクセスし、課題等に取り組み、結果を提出する。本授業の1コマ当たりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない 参考書：適宜指示する 指定図書：「本物の大人論」外山滋比古(著) 海竜社</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割通りに授業録画を視聴すること。それができない場合は、視聴可能期間中に視聴を済ませること。 ・ 授業で分からないことが生じた場合は、チャット機能等を使って遠慮せずに質問すること。 ・ 録画の画像が乱れる場合には、大学の教務課に連絡をすること。(0956-39-2020) ・ 授業での問いかけに対しては、自分のことと捉え、考える習慣を身につけること。 ・ 授業で学んだことを実践に移せるよう心掛けること。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 4月 14日	「オリエンテーション」 (担当：滝教授及び担当教員)	本授業の意義、内容、方法の説明を受けるとともに、受講にあたっての約束事を理解する。そして、各学科の担当教員の紹介を受ける。さらに、授業後に課せられる「振り返りと課題」の記載方法や提出方法を理解する。	(予)：シラバスを読む。 (復) manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
2 4月 21日	「長崎国際大学が育成する 学士像」 (担当：安東学長)	学長の安東先生から大学の役割や本学が育てる人物像に関する講話を受ける。また、学長自らの1年生に対する想いを話していただき、本学への入学の意義を再認識する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
3 4月 28日	「ホスピタリティの起源と 課題」 (担当：木村副学長)	世界史および日本史におけるホスピタリティの起源と変遷の講話を視聴し、ホスピタリティの歴史と現代の課題を理解する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
4 5月 12日	「プレゼンテーションの目 的と方法」 (担当：矢野長崎大学准教授)	プレゼンテーションの意味やその役割、そして、主張を簡潔正確に伝える方法等の説明を受け、プレゼンテーションの組立を考える。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
5 5月 19日	「九州文化学園の歴史と未 来」 (担当：安部理事長)	安部理事長から九州文化学園創立の経緯やその発展の歴史等に関する講話を受ける。そして、本学の理念である「人間尊重」や「ホスピタリティ」の素晴らしさを認識し、自校愛の芽生えを図る。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
6 5月 26日	「国際化社会におけるホ スピタリティの重要性」 (担当：国際交流・留学生支 援室)	国際化社会におけるホスピタリティの意義についての講話を受ける。そして、多様な文化の中でのコミュニケーションのあり方を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
7 6月 2日	「キャリアとホスピタリ ティ①」 (担当：教員及び事務職員)	教員及び事務職員のキャリアに関する講話を受ける。そして、キャリアにおけるホスピタリティの役割を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
8 6月 9日	「キャリアとホスピタリ ティ②」 (担当：教員及び事務職員)	教員及び事務職員のキャリアに関する講話を受ける。そして、キャリアにおけるホスピタリティの役割を考察する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
9 6月 16日	「学内センターの理解」 (担当：両センター職員)	健康を管理・推進するキャンパスライフ・ヘルスサポートセンターと、就職活動を強力に支援するキャリアセンターの役割について説明を受け、その活用法を考える。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
10 6月 23日	「大学図書館の理解」 (担当：図書館職員)	大学における図書館の役割や利用方法についての講話を受ける。そして、図書館の活用法を考える。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
11 6月 30日	ホスピタリティ・ループリッ クの理解と自己認識 (担当：滝教授)	ホスピタリティ・ループリックに基づき、「ホスピタリティを構成する5つの能力」について理解し、自己の現状認識をした上で行動目標を設定する。	(予)(復)：manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
12 7月 7日		学科別の課題とホスピタリティ①	
13 7月 14日		学科別の課題とホスピタリティ②	
14 7月 21日		学科別の課題とホスピタリティ③	
15 7月 28日		学科別のまとめ及びレポート提出	

国際観光学科

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
12	国際観光学科に求められるホスピタリティ (担当：池永学部長・井上学科長)	国際観光学科での学びにおけるホスピタリティの重要性を理解し、特に本学科の学生に求められる多様性理解力について考察する。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
13	長崎国際大学での学びと社会 (担当：卒業生)	社会で活躍する国際観光学科の卒業生を招き、大学の学びと仕事の結びつきを共に考える。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
14	長崎国際大学での学びと社会 (担当：卒業生)	社会で活躍する国際観光学科の卒業生を招き、大学の学びと仕事の結びつきを共に考える。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
15	「ホスピタリティ概論」を受講して (担当：滝知則)	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。

社会福祉学科

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
12	社会福祉学科のホスピタリティ (担当：池永学部長・脇野学科長)	社会福祉の歴史を概観しながら、対人援助及び地域援助に求められる多様性の尊重等の諸原理とホスピタリティとの関係性について学ぶ。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
13	福祉の仕事におけるホスピタリティ① (担当：ソーシャルワーカー)	現場で活躍するソーシャルワーカーの実践事例を踏まえたホスピタリティの考察から、その必要性について理解を深める。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
14	福祉の仕事におけるホスピタリティ② (担当：卒業生)	社会福祉学科卒業生が本学と現場で学んだホスピタリティや専門知識等を社会福祉実践にどう結び付けているかを知り、学修する意味を理解する。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。
15	「ホスピタリティ」論述 (担当：中村尚生)	ホスピタリティの意味についてどのように理解し、今後どのように実践的に体現していきたいかを論述する。	(予)(復)：manabaの「振り返りと課題」に記入し、提出。

健康栄養学科

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
12	健康栄養学科に求められる ホスピタリティ	「食と医学を基本とした栄養学」を修得し、広く社会に貢献していくために、健康栄養学科での学びにおけるホスピタリティの重要性を理解する。	これまでの授業内容をまとめておく。
13	ホスピタリティと仕事 1	医療分野や高齢者福祉施設・保育所・委託給食会社など現場で活躍する管理栄養士の業務に関して、実践事例を踏まえ、ホスピタリティの必要性を理解する。	管理栄養士の業務・チーム医療について調べておく。
14	ホスピタリティと仕事 2	現場で活躍する健康栄養学科卒業生を招き、大学での学びを現場でどのように結びつけているか、またホスピタリティの必要性について理解を深める。	管理栄養士の業務・チーム医療について調べておく。
15	「ホスピタリティ概論」を受講して	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予) 授業ノートをまとめておく。 (復) 授業の改善点の完成

薬 学 科

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
12	薬学科に求められる ホスピタリティ (藤田学部長・椛島学科長)	薬学部学生が卒業時に必要とされる資質、すなわち薬剤師としての基本的資質が10項目挙げられている。それらの資質の修得は、患者・生活者本位の視点を醸成する基盤として位置付けられる。本講義は、患者に寄り添う薬剤師としてのホスピタリティについて考えることを狙いとする。	(予) (復) : manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
13	仕事とホスピタリティ 1 (担当：外部講師)	仕事に必要なホスピタリティを本学 OB (病院・薬局、行政等)、外部講師から講演・談話形式で学ぶ	(予) (復) : manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
14	仕事とホスピタリティ 2 (担当：外部講師)	仕事に必要なホスピタリティを本学 OB (病院・薬局、行政等)、外部講師から講演・談話形式で学ぶ	(予) (復) : manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。
15	「ホスピタリティ概論」を受講して (担当：深澤昌史)	「ホスピタリティ概論」での成長を診断するとともに、授業の改善点を検討し、まとめる。	(予) (復) : manaba の「振り返りと課題」に記入し、提出。